

シンポジウム「教育の質保障と多様な学習成果の評価」

教育過程の質評価

秋田喜代美

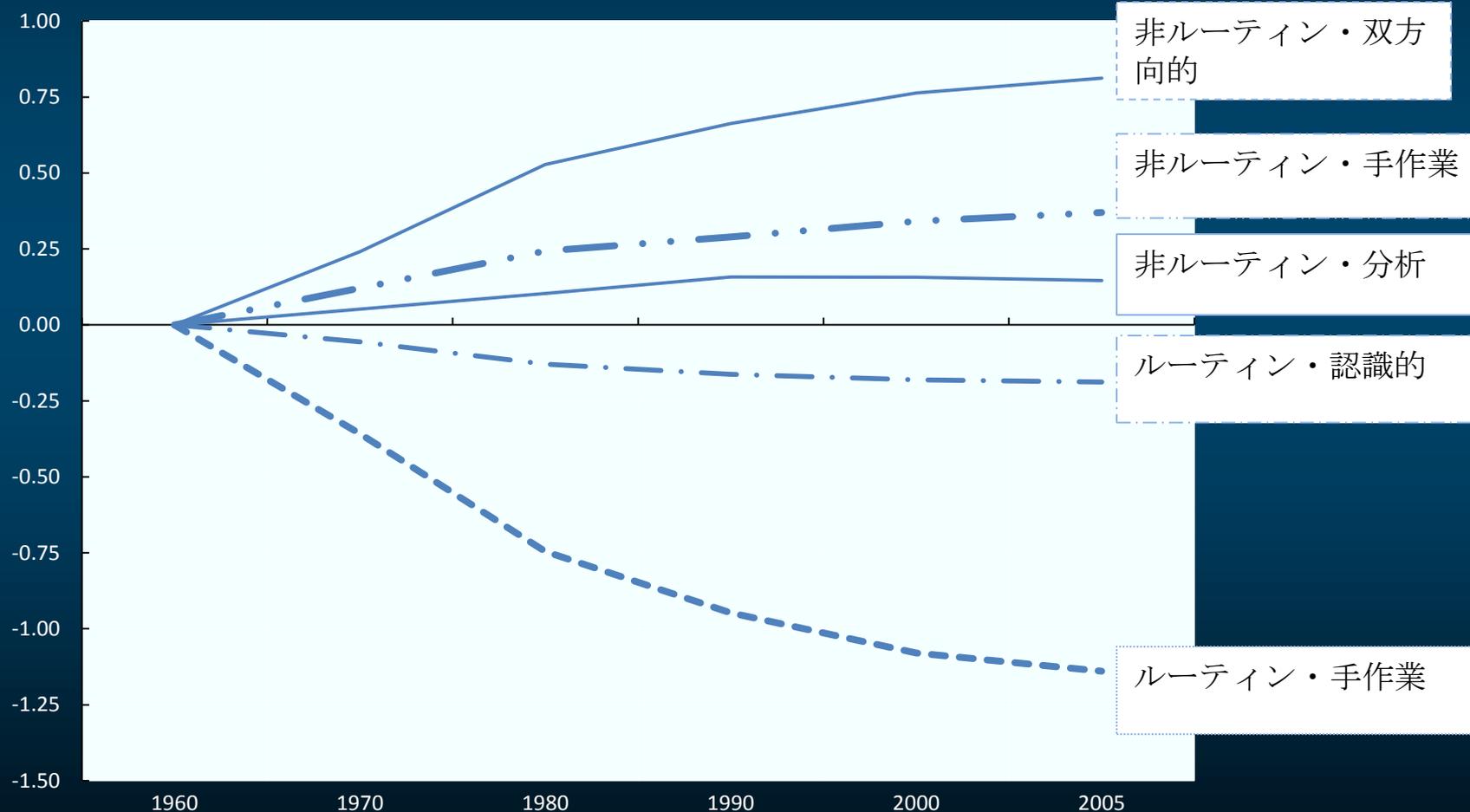
(教育学研究科教職開発コース)

社会変動と求められる教育の質の変化

(OECD, TALIS, 2014)

日本におけるスキルの需要の傾向

1960年を基準とした作業形態の需要のパーセンテージの変化



Sources: based on Ikenaga and Kambayashi (2010)

教育の質

社会、文化により異なる 価値相対的

1) 知識基盤社会に対応したスキルの育成

- Non-cognitive skill、21世紀型スキル
- 成果：学力とともに生涯の労働、幸福、福祉

2) 格差是正と包摂される社会へ

- 教育の平準化 ・卓越性の育成
- 民主的社会の実現

3) 質を捉える枠組み

- 様々な水準でのアセスメントと質向上サイクルの形成



これからにもとめられる社会情動的 スキルとは(OECD、2014)

社会情動的スキルの
枠組み

目標達成

- 忍耐力
- 自己調整
- 目標への情熱
- 信頼性

ストレス への対処

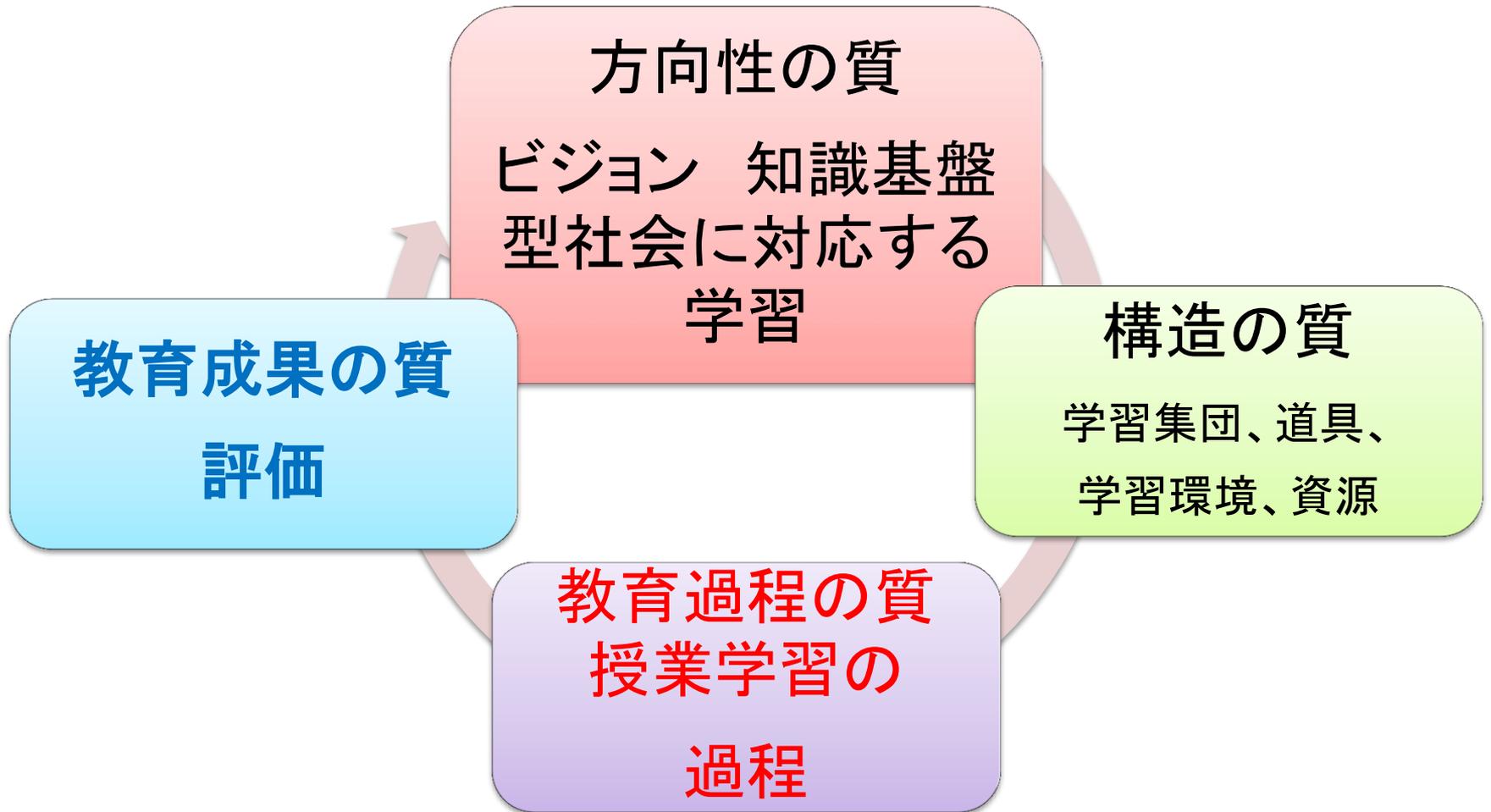
- 穏やか
- 鎮静
- 楽観主義
- 自信

他者との協働

- 親密性
- 尊敬
- 親切さ・援助
- 気遣い

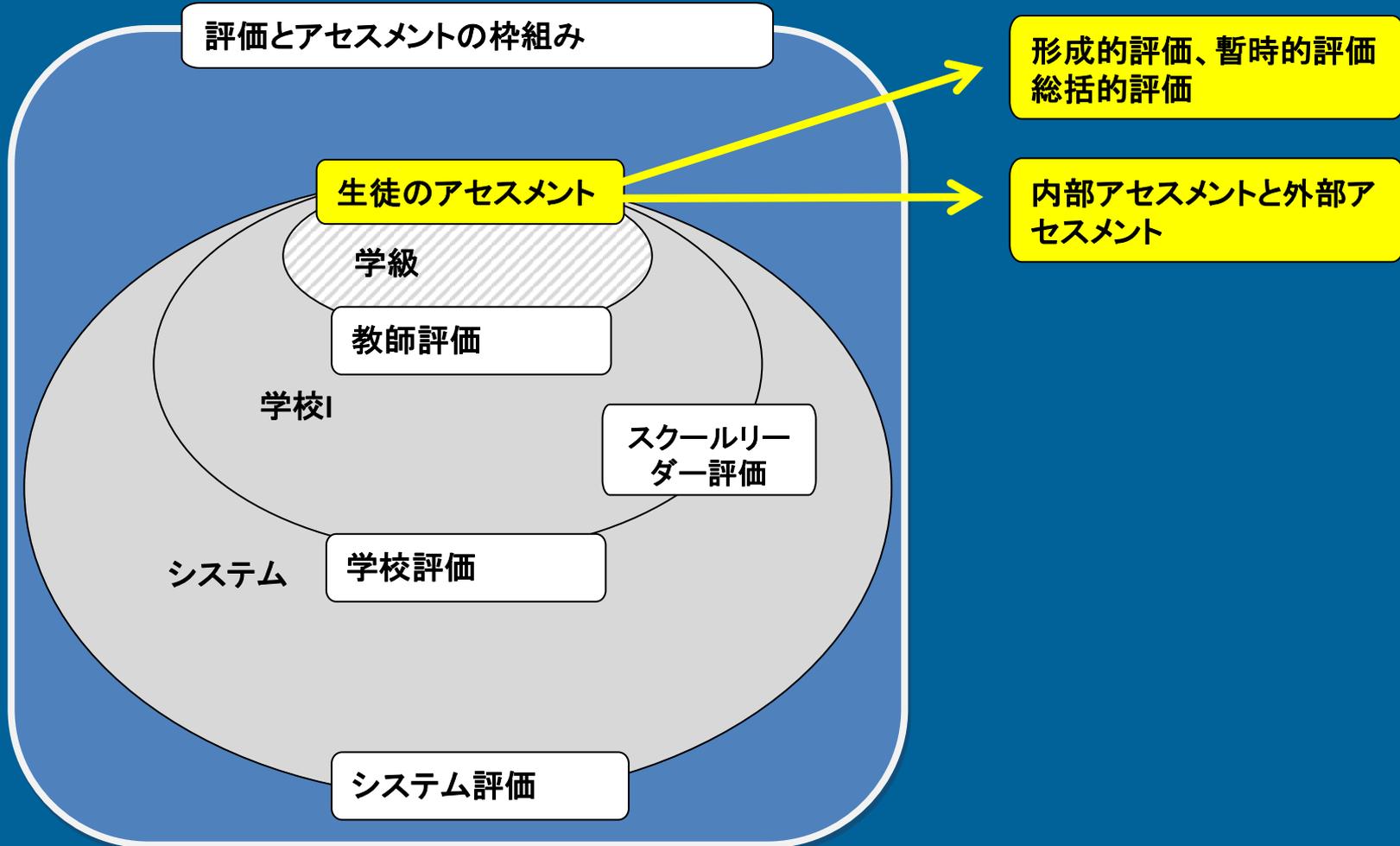
「教育の質」保障

4つの質の密接な関連



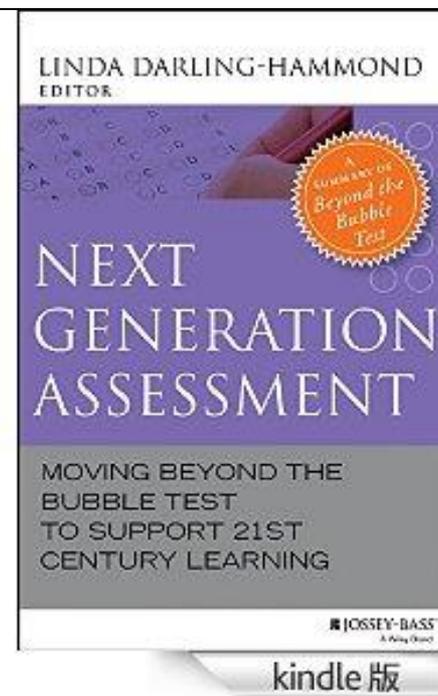
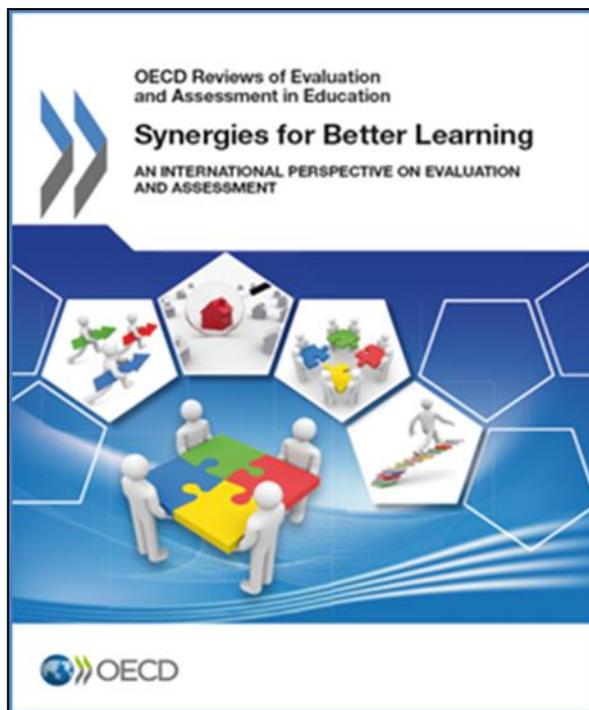
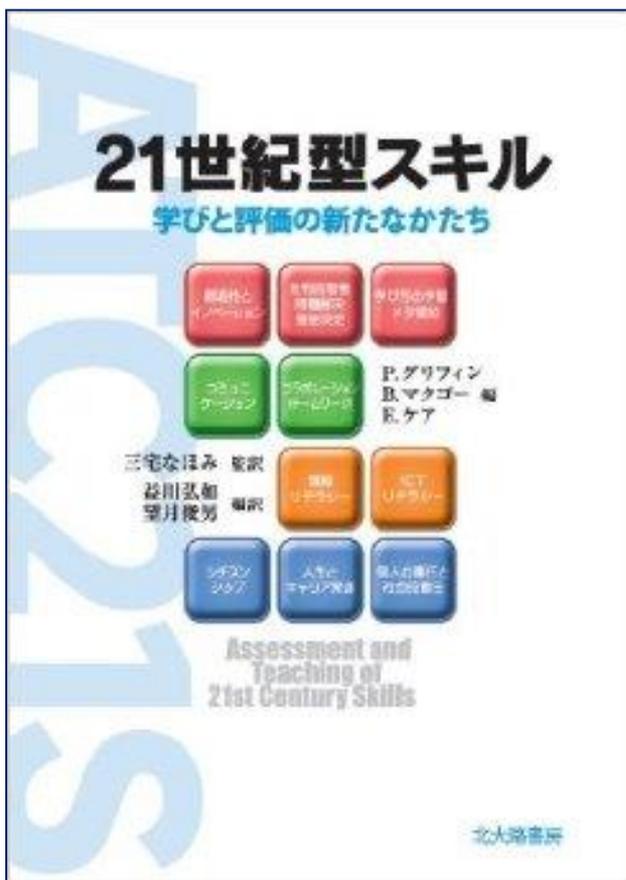


各水準での評価 生徒・教師・リーダー・学校・地方自治体



21世紀型の多様な学習と評価が 求められている

(いずれも2013, 2014刊行)



アセスメントの連続性

(Linda Darling Hammond 2014)

伝統的
なテスト

CCSS
アセスメン
ト

Common
Performance
task

Think Ready
Assessment
system

生徒が
デザインした
プロジェクト

狭い評価

より深い学習の評価

ルーチン
スキルの
標準化さ
れた多肢
選択テス
ト

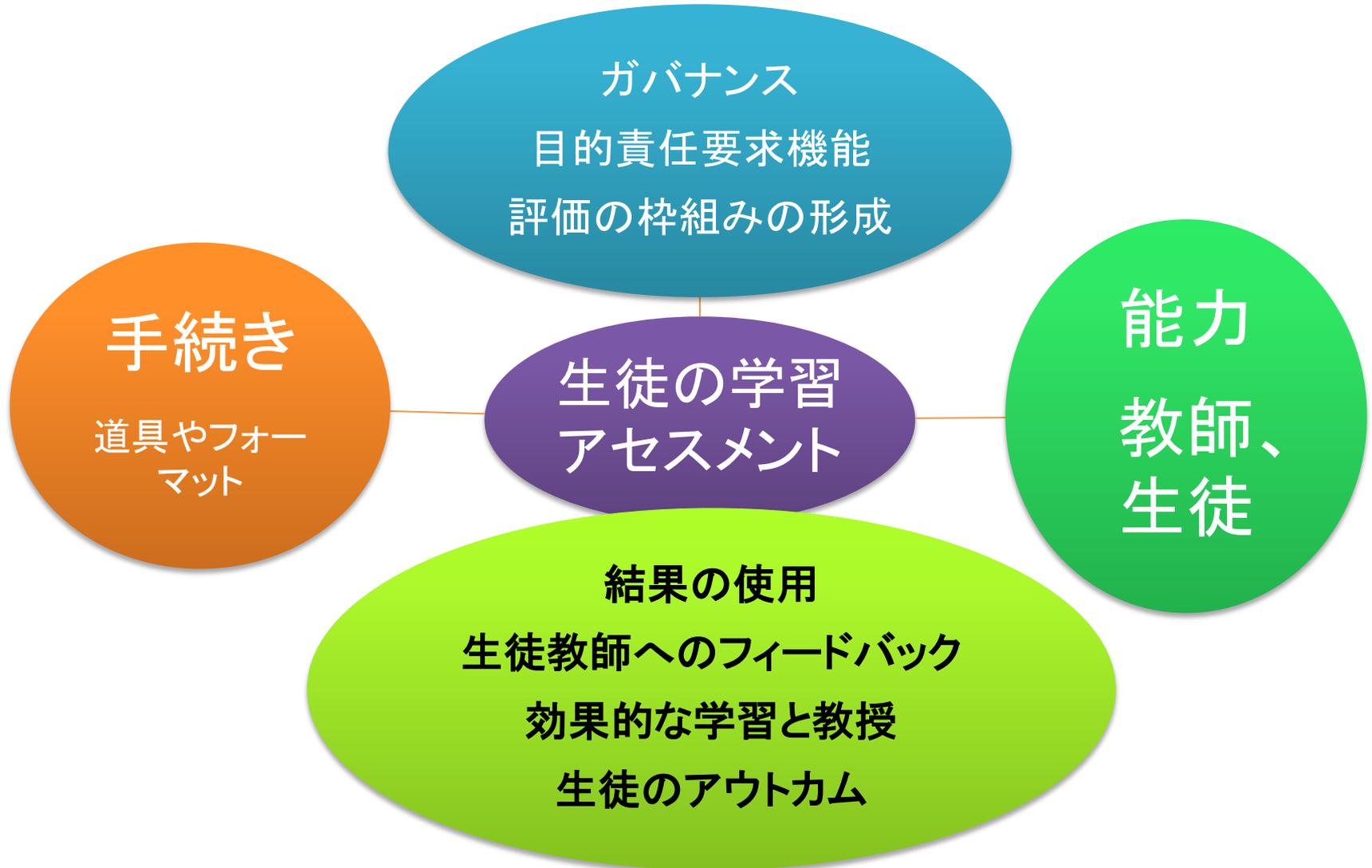
活用力を
みるオー
プン課題
や短いパ
フォーマ
ンス課題
を含んだ
標準テス
ト

教師が開
発した、
探究や協
働、統合
された技
能をみる
パフォー
マンス課
題

1, 2週間か
けて解くよう
な、あらゆる
鍵となる認
知方略を含
んだ標準化
されたパ
フォーマン
ス課題

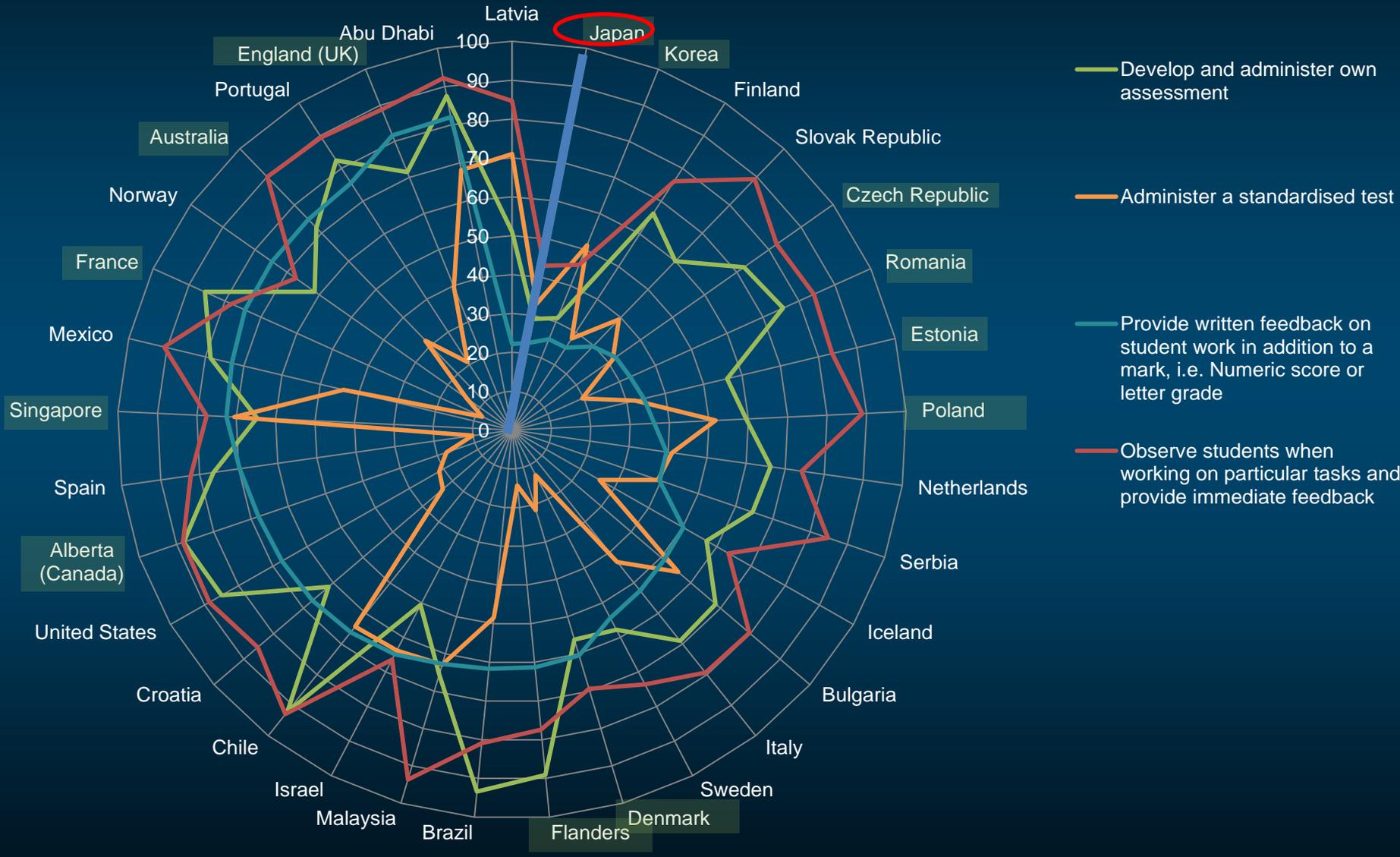
より長期的探
究とその展示
や論文化、より
高度なプロジェ
クト、ポートフォ
リオやサイエン
スフェアへの
参加

質保障の枠組み (OECD2013)



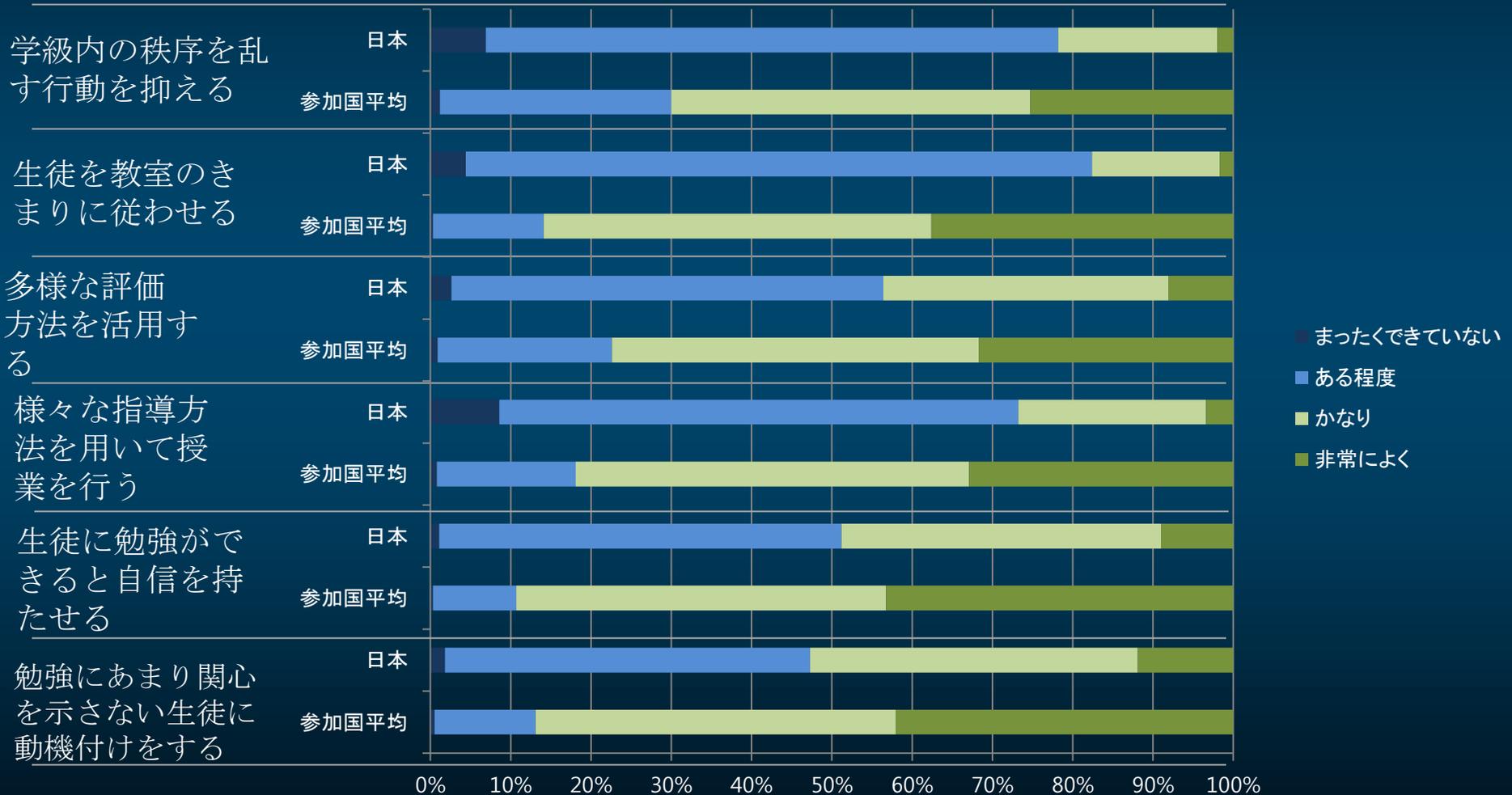
日本では、多様な手法で生徒の学びを評価すると答えた教員の割合が他国に比べ、全体的に低い。

Percentage of lower secondary teachers who report using the following methods of assessing student learning "frequently" or "in all or nearly all lessons"



日本では、教員の自己効用感を報告した教員の割合は、三カ国平均と比べ低い

教員の自己効用感（各項目について、どの程度できているかについて質問し、それぞれの選択肢の回答をした教員の割合）



検討されるべき課題

「多様な学習成果の評価手法」

- 1 多様な評価手法は多様な学習のあり方から生まれる

学習のあり方の多様な工夫と評価の関係

今回 教科、総合 キャリア学習、総合学科

教育の質保障のために高校でありうるべき

カリキュラムは？ショッピングモールハイスクール
でよいのか

1) 通常授業はそのまま伝統的手法で本当に教師の評価の観点を見るまなざしは変わりうるか？

2) 「探究」を形態でみるのか、生徒の学習の心理プロセスで考えるのか

3) もとめられているのは、教師の側のマインドセットの変化。

とすれば学校全体でこちらにむかう組織形成のあり方とは？

2 「何をいかに評価するのか」という問題
誰が評価をするのか(教師、生徒、外部)
観点としての規準と基準
形成的評価を重視する
ポートフォリオ評価とパフォーマンス評価は
誰のため？

学びの軌跡の見える化としての評価をいかに
活用するのか？ 評価して終わりでもいいか？

3 評価の道具立て

選抜, 選考のための評価と学習指導のための
評価のつながりをいかに創るか？

IT化により、クラスを超えた越境の可能性

評価は知識の再創造

「お金は分ければ分けるほど減少する。
知識は分かち合うほどに増殖する。」

多様な評価のあり方の知識イノベーション
ネットワークへ